

茨城新聞2018年7月7日付け17面に思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座の様子が掲載されました

A版

第三種郵便物認可

茨城新聞

高校教員の指導力向上へ

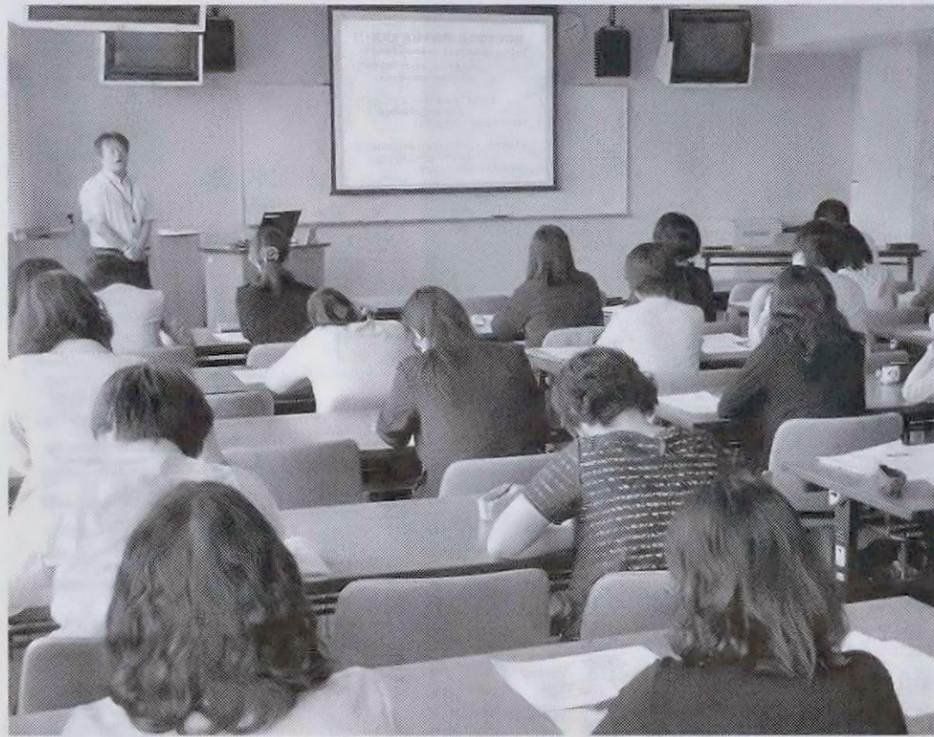
笠間で 研修講座 「高大接続改革」見据え

高校教員らの指導力向上を目的とした研修講座が、

笠間市平町の県教育研修センターで開かれた。県内の高校や特別支援学校の教員約170人が参加して、大

学入試改革や新学習指導要領の実施に備え、指導の在

り方や授業改善の方策を探った。高校教育、大学教育、大



高校教員らを対象にした指導力向上研修講座＝笠間市平町

大学入試センター試験に代わって2020年度から新たに導入される「大学入学共通テスト」や新学習指導要領では、各教科の知識や技能に加え、新たに「思考力・判断力・表現力」が問われることになり、教育現場では教員の指導力向上や授業の改善が求められている。

この日は、専門家の講演のほか、先進校の取り組みなどを紹介。参加教員は「高大接続改革は、大学進学者のためだけのものではなく、高校教育全体の改革であることを改めて認識した。生徒がこれからの社会を生き抜く力として、思考力・判断力・表現力を身に付けるための教科指導を意識していきたい」と話した。

研修講座は、8、10月にも開催される。昨年度実施された「大学入学共通テスト導入に向けた試行調査（プレテスト）」の分析とともに、大学教授や予備校の講師などを招いた講義、演習などを予定している。

(朝倉洋)